



海老名里山づくりボランティア「山仕事の会」

発行責任者 伊藤 健三 TEL046-232-7315

編集 白井 吉夫 TEL090-3521-1233

<http://homepage3.nifty.com/ebina-yamashigoto/>

《植樹祭特集号》

えびなの森創造事業

植樹宣言・第1回市民植樹祭開催される(11月1日(土))

■はじめに

山仕事の会および会員が、「えびなの森創造事業」に携わり事業推進の諸行事等で応援していることは既に「山仕事」だよりでお知らせしておりますが、改めて事業推進実行委員会に顔出ししている方々のご紹介と山仕事の会としてお手伝いしてきた事業等は次の通りです。

○実行委員会(山仕事の会 会員)

- ・副委員長 伊藤 健三 (海老名市緑化推進協議会を代表して参画)
- ・委員 渡邊 良治 (山仕事の会を代表して参画)
- ・委員 安藤 正雄 (海老名市スカウト連絡協議会を代表として参画)
- ・委員 成瀬 源子 (海老名環境市民会議を代表して参画)

○お手伝いしてきた事業など(詳細は山仕事だより)

- | | | |
|-------------|-----------------------|--------|
| ・ 7月 6日(日) | ・ 中央公園周辺での「アンケート調査活動」 | 11名 参加 |
| ・ 7月 9日(水) | ・ 実践団体とのヒヤリング | 7名 // |
| ・ 7月 9日(水) | ・ 里山づくり研修会(川崎市浮島公園) | 11名 // |
| ・ 10月 6日(月) | ・ コースター造り(プレミアム映画祭準備) | 6名 // |
| ・ 10月18日(土) | ・ プレミアム映画祭クラフトブース出展 | 13名 // |
| ・ 10月31日(金) | ・ コースター造り(市民植樹祭準備) | 9名 // |

※事業推進に向けて既に、6回の実行委員会が開催されましたが、毎回の会議では山仕事の会の方が緑を大切にす理念を基に積極的に活躍されています。

■植樹宣言・式典および市民植樹祭



えびなの森創造事業のスタートを記念して、「植樹宣言」及び第1回市民植樹祭が11月1日(土)秋晴れの好天気恵まれ、市役所南側広場で開催されました。式典は創造事業実行委員会の「栗山 明郎」委員長の挨拶に始まり、引き続き、内野市長が「えびなの森創造事業植樹宣言」を行いました。

・写真は栗山明郎実行委員長の開会挨拶

【えびなの森創造事業植樹宣言】

海老名市の豊かな自然環境を次世代へ引き継ぐ責務が私たちにはあります。

地球温暖化現象の進行による、様々な環境の変化は深刻な状況となっています。私達は、緑地の整備・保全をはじめとする環境への取組みに加えて、積極的に植樹をすることで、自然と調和した街づくりを進めていきます。

そして、市民一人一人に相当する12万5千本の植樹を合言葉として、心に刻まれるふるさとの森づくりを市民・団体・企業・行政が協働した植樹活動をとおして、全ての市民が憩い・ふれ合える空間「えびなの森」を創造し、「快適に暮らす魅力あふれるまち えびな」を作ります。



平成20年11月1日 海老名市長 内野 優

[式典前の会場]



◇式典が始まる前の一時、会場テント内で

- ・栗山 明郎 実行委員長
- ・伊藤 健三 副実行委員長



・式典会場に見えられた多くの市民



◇式典会場で関係者による記念撮影。

写真左側から、えびなの森代表 田村 耕三様 ・渡辺副会長 ・安藤さん ・海老名環境市民会議副会長 成瀬 源子様

※田村様は里山整備の仲間です、市域北部のえびなの森を整備している「海老名の森」ボランティアの代表者です。

海老名の森

HP

<http://homepage2.nifty.com/ebinanomori/index.html>

[事業開始の刻印セレモニー]



◇海老名プレミアム映画祭でクラフト(手づくりの工芸品)ブース出展時に参加されました会員の方および植樹祭準備のコースターづくりに参加されました方はご存知ですが、植樹祭当日写真左のように、栗山実行委員長と内野市長がコースターに「刻印」を行いました。

○写真左は、電気コテで焼印をしている。

○写真右は、見事に「焼印」が出来たコースター

[植樹祭]

市役所庁舎南側広場の東側に記念植樹として「6本」植樹しました。

写真右は、「ヤマザクラ」を植樹する、栗山実行委員長・市川市議会議員・内野市長。

写真下は、「コブシ」を植樹する、甘利行革大臣・志村副市長・沖原教育長・伊藤副実行委員長(山仕事の会 会長)その他に植樹された樹木を整理すると

(ヤマザクラ) (コブシ) (シラカシ) (イロハモミジ) (ハルニレ)

(エゴノキ)

※30年後の海老名の森を守る「助っ人」が植樹に飛び入り参加

記念植樹は最初に栗山実行委員長の組で「ヤマザクラ」を植樹し、引続き伊藤副実行委員長の組が「コブシ」の植樹をはじめた時に、何と海老名の将来の担い手である「子供」(※写真左)が飛び入り参加しました。将来の海老名の森は僕に任せてくださいとのことか。たのもしかったです。



〔記念撮影〕

えびなの森創造事業記念植樹祭関係者による「記念撮影」



〔閉会〕



式典の閉幕に当たり、伊藤健三副実行委員長から閉会のあいさつがあり、えびなの森創造事業(海老名の森づくり)に向けての「キックオフ」は成功裏のうちに終了しました。

□伊藤副実行委員長の挨拶概要

「えびなの森創造事業を推進する実行委員会では、緑豊かな魅力のある素晴らしい街づくりを目指すことになりました。

私たちの大事な次の世代に豊かな緑を貴重な財産として残すために、市民の英知を集めながら、行政の皆さんと「力」を合わせて、その財産を築きあげて行きたいと願っています。そのために、市民・企業・行政の協力を得ながら、3年後の市制40周年を目指して頑張っていきたいと思います。」

〔市民植樹祭〕

記念式典終了後、事前に市民植樹祭参加を申し込んでいた方および当日申し込みされた方々が、式典会場近くの「横須賀水道路」で市民記念植樹祭を行いました。

植樹された樹木は「アジサイ」・「スイフヨウ」・「ユキヤナギ」です。



アジサイ



スイフヨウ



ユキヤナギ



市民記念植樹祭

◆植樹祭特集号の写真撮影は平井さん・桜井さんにご協力を頂きました。

■第1回市民植樹祭に使われるコースターづくり(10月31日(金))

焼印入りコースター221個つくりあげる

□11月1日の市民植樹祭に参加された「市民」に記念として差し上げる「焼印入りのコースター」を創造事業推進課から「山仕事の会」に製作要請があり、10月18日に開催されました「海老名プレミアム映画祭」の実績も評価されてのことかと思えます。

当日はお忙しい中山仕事の会 会員9名が参加されコースターづくりと焼印の作業を行いました。

は14時30分から、渡邊副会長の指示(ミーティング)に始まり17時の終了時点で焼印入りのコースター

「221個」を作り上げ無事作業を終了しました。

○当日参加されました会員(敬称略)

渡邊・岡田・榎田・櫻井・荒井・佐野・安藤・堀・白井

□作業状況



計9名 ・作業前のミーティング



□出来上がったコースター



■作業内容の反省点

コースターづくりは2回目となり、映画祭のときの反省を踏まえて。

○前は事前にコースターを作っておきましたが、「木」が乾燥して表面に若干「ソリ」が入り、焼印が全面に焼きつかなかった。

○このことを反省して今回は「生木」でコースターを作りその場で「焼印」を行ったが、電動ノコのスピードを速めると表面に微妙なアンジュレーションができ「焼印」が上手くいかなかった。

○電動ノコの下げおろし速度に注意が必要。

次に使用機器の電源について

○電気コテの電源については、同一コンセントから2口の使用はなるべく避ける。

※コンセントの容量は原則「15A」である為に、容量不足が出てくるおそれあり。

○焼印の「コテ」の作業は極力「室内」とする。

※屋外での作業は風があり電気コテが冷却されるため。

○電気コテの使用はなるべくコンセントの近くで、なおかつコードの長さを極力短くする。

○電気コテの仕様書を事前に目を通す。

以上のことについて、次回作業前には事前確認をしてから作業に入ることを望みます。(白井)

以 上